

資料 No.3

<令和 6 年度地域包括医療・ケア研修会>

-令和 7 年 1 月 17 日(金) / 1 日目-15:25~16:35

講演Ⅲ

iPhone でできる病院 DX

■講師

社会医療法人石川記念会 HITO 病院
Chief Transformation Officer

篠原 直樹 氏

■司会

国診協副会長
香川県:綾川町国民健康保険陶病院長

大原 昌樹

iPhone でできる病院 DX

社会医療法人石川記念会 HITO 病院 DX 推進室

Chief Transformation Officer

篠原 直樹

日本は人口減少局面に入り、低成長時代を迎えています。医療分野でも深刻な人手不足への対応が求められており、当院では社会に浸透している iPhone というデジタル技術を活用し、医療の効率化を図り、時間を創出しています。また、新人看護師の学習環境を見直した結果、人材定着にもつながっています。

近年、テクノロジーの進化は加速しており、これまで解決が難しかった問題についても、前提を見直し、ICT や生成 AI 活用などの次元の高い領域で解決策を見出すことが重要と考えます。病院変革のポイントは、コストやリスクの最小化を図りながら、DX による経営改善や組織変革、人材定着などの恩恵に目を向けることです。費用対効果がよく問われますが、病院の DX を推進する当初は財務価値を見ないということではなく、非財務価値を成長させるための人的資本への投資と考える方が良いです。

アンラーニングやリスキリングを病院も考える時期に来ており、リスキリングの機会の充実が優秀な人材を獲得するための魅力となると信じています。シニア層の経験や知識をリスキリングすることで、これまでできなかったことの実現につなげることがができます。ひとり 1 台の iPhone 活用は、ネットワーク効果を生み、連携の強化と生成 AI による個人の知能拡張やパーソナライゼーションが期待できます。

当院における DX 推進の変遷と人材定着への取り組みなどを紹介するとともに、DX 推進時の課題解決についての考え方やバックキャスト思考の重要性についてもお話しします。

講師略歴

篠原 直樹 (しのはら なおき)

社会医療法人石川記念会 HITO 病院 Chief Transformation Officer
日本病院 DX 推進協会 理事/事務局長

◆経歴

1995年3月愛媛大学医学部医学科卒業。

脳神経外科医師として臨床現場で地域医療に従事。

2010年より愛媛大学大学院医学系研究科地域医療再生講座助教、2014年10月より社会医療法人石川記念会 HITO 病院勤務。現在は CXO (Chief Transformation Officer) として院内 ICT 導入、DX 戦略立案にも従事しながら、2024年4月から CHRO (Chief Human Resource Officer) 兼務。また、2024年10月発足の日本病院 DX 推進協会 理事/事務局長 を務める。